

2019年4月19日 第3286回例会

於： 横須賀商工会議所



- <点鐘・開会> 12:30 北村 会長
 <斉 唱> 「手に手つないで」
 <ゲスト紹介> *横浜女学院 理事長/
 国際ロータリー第2590地区ガバナー 金子 大 様
 *Archi-JAM Workshop 一級建築士事務所 主宰 小山 美智恵 様
 <ビジター紹介> *国際ロータリー第2590地区ガバナーエレクト 轟 淳次 様
 *川崎マリンロータリークラブ 小山 宏明 様
 // 増田 敏雄 様
 // 鈴木 慎二郎 様
 *川崎麻生ロータリークラブ 鈴木 憲治 様
 *神奈川ロータリークラブ 山室 宗作 様
 *横浜中ロータリークラブ
 第2590地区 地区大会実行委員長 大堂 藤夫 様
 *茅ヶ崎ロータリークラブ幹事 中山 富貴子 様
 // 社会奉仕委員長 吉田 恵子 様

- <会長報告> *ガバナー事務所より
 ・国際大会“第2780地区 地区ナイト”のご案内について
 6月2日(日) 18:30～ 場所：ハンブルグ 市庁舎パラメントの
 地階のレストラン
 会費：お一人10,000円

- <委員長報告> *加藤(勲) 幹事より釣り同好会 報告
 <幹事報告> *ガバナー月信 No. 10
 *横須賀西RC主催 第12回チャリティーコンサート開催のお知らせ
 4月29日(月・祝) 13:00 開場 13:30 開演 於：金谷山大明寺
 *例会終了後第10回理事役員会開催(例会場)

- <出席報告> *出席委員会 福西委員長より4月19日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数	欠席数	メイクアップ数	出席率
120名	108名	72名	36名	5名	71.30%

<ニコニコ報告>

- ・RID2590地区ガバナー 金子 大様、横浜中RC 大堂藤夫様
卓話にお伺いしました。よろしくお願ひします。
- ・川崎マリンRC 轟 淳次様、小山宏明様、増田敏雄様、鈴木慎二郎様、川崎麻生RC 鈴木憲治様
本日は当地区金子ガバナーの応援で参りました。宜しくお願ひ申し上げます。
- ・神奈川RC 山室宗作様 2002年以来のメイクアップさせていただきます。皆様に日頃よりお世話になっております。
- ・茅ヶ崎RC 吉田恵子様、中山富貴子様 初めて横須賀RCへメーカーキャップさせていただきました。どうぞ宜しくお願ひいたします。
- ・三 役 RID2590地区ガバナー 金子 大 様、本日は大変お忙しい中誠にありがとうございます。
- ・二 瓶、松本(勲)、福西、杵 渕、梁 井、木 村、鷺 尾、高橋(勲)、佐久間、大 竹、小 平、田 邊、吉 田、山 寄、植 田、猿 丸、飯 塚、澤 田、勝 間、小佐野、上 林、山田(勲)、長 尾、Enora、藤 村、波 島、若麻績、兼 城、岡 田、鈴木(勲)、前 田、齋藤(勲) 各会員
国際ロータリー第2590地区ガバナー金子大様 ようこそお越しくださいました。

本日の卓話宜しくお願ひ致します。

- ・高橋 倫 会員 国際ロータリー第2590地区ガバナー 金子 大様、本日はようこそお越し下さいました。卓話楽しみにしております。
- ・飯塚、澤田、小佐野、勝間、前川、Enora、根岸、波島、若麻績、谷、齋藤眞、平田、鈴木 豊 各会員
国際ロータリー第2590地区ガバナーエレクト 轟 淳次様、川崎マリーンRC 小山宏明様・増田敏雄様・鈴木慎二郎様、川崎麻生RC 鈴木憲治様、神奈川RC 山室宗作様、横浜中RC第2590地区地区大会実行委員長 大堂藤夫様、茅ヶ崎RC幹事中山富貴子様、社会奉仕委員長 吉田恵子様、本日はようこそお越し下さいました。本日の例会をどうぞお楽しみください。
- ・小沢 会員 国際ロータリー第2590地区の皆様本日はようこそお越し下さいました。
- ・小沢 会員 茅ヶ崎ロータリークラブの皆様ようこそお越し下さいました。
- ・三 役 先日行われました釣り同好会、大変にお疲れ様でした。色々と準備いただき有難うございました。
- ・加藤 倫、瀬戸、佐久間、福西、角井、長坂、門井、原田、五十嵐、物井 各会員
4/13(土) 4/15(月)の両日、「釣り」同好会の「マダイ&試食会」を開催致しました。当日は天候に恵まれ、たくさんのご家族・会員の方にご参加頂きました。また多くの皆様から賞品のご提供、感謝致します。ありがとうございました。
- ・丸山 会員 なんとなく

<卓 話> 「教育が変わる」

横浜女学院 理事長

国際ロータリー第2590地区ガバナー

金子 大 様

皆さんこんにちは。横浜中ロータリークラブに所属している横浜女学院理事長の金子大です。よろしくお願ひいたします。本日は、学校教育についてお話をしますが、まず始めに今後の教育改革のスケジュールについて、説明させていただきます。

「新学習指導要領」は2018年度に移行措置がスタートしました。そして、2019年度には「高校生のための学びの基礎診断」が実施され、2020年度に「新学習指導要領」が小学校において全面実施される予定です。また、この年に大学入試センター試験が廃止され「大学入学共通テスト」が実施されます。その後、2021年度には「新学習指導要領」が中学で全面実施、2021年度に高校で全面実施され、2024年度に「新学習指導要領」での入試が初年度となります。そしてその年に「大学入学共通テスト」での情報I（プログラミング教育）の実施が検討されています。文部科学省はこの学校教育の改訂理由を「学校は、社会と切り離された存在ではなく、社会の中にあります。グローバル化や急速な情報化、技術革新など、社会の変化を見据えて、子供たちがこれから生きていくために必要な資質や能力について見直します。」と説明しています。

次に本題に入る前に教育や社会を取り巻く環境についてお話します。総務省から発表されている人口統計では、30年後となる2050年には日本人の人口は現在の1億2千万人から1億人を割り、2060年には8千万人台にまでなってしまうと言われていています。また、オックスフォード大学のマイケルAオズボーン准教授の論文によると、ITの進歩により今後10年から20年で49%の職業が機械に代替され、37%の職業がなくなる可能性があると言われていています。それではどのような仕事が残るのかということ、芸術分野に代表されるクリエイティブな仕事が残っていくのではないかとということです。私たちも教育をする上では機械化されない、AI化できないものは何なのかということを中心に捉え、人の感情や愛情といったものをいかに教育の中に取り込んでいくかということを考えていかなければいけないと思います。

今までの学校の授業というのは板書型と言い、黒板を使って書いたり、重要なところを示したりして授業を進めていました。これからの授業ではアクティブラーニングの導入や道徳教育の変化ということが大き

く盛り込まれています。アクティブラーニングとは学校と社会の繋がりや、主体的、対話的な深い学びということを指します。そして近年、話題となっているプログラミング教育や、外国語教育、道徳教育などが導入されることになっています。また、英語の授業についても日本語で行っていたものを英語で行うようになると思います。横浜女学院の取り組みをご紹介しますと、英語の授業だけではなく、ホームルームや、地域社会の環境問題等、色々なテーマを決めて行うディスカッションについても英語で行うようにしています。いきなり英語だけとはいきませんが、徐々に変わってくると思います。

今後AI化が進み、人間にしかできないことは何なのかということを考えると、私は読み取る力や書く力、そしてコミュニケーション能力や他人を感受する能力など沢山あると思います。また、未来を生きる子供たちに資質や能力を身につけさせるために、私たちは何ができるのかということを考え、授業を行っていかねばいけないと思っています。これまでは学んだことをきちんと理解しているかという知識、技能の評価が大きなウェイトを占めていましたが、今後はそれらを基礎として自分で考え、表現し、判断して実際の社会に役立てることが求められるカリキュラムになってきます。

そしてもう一つの課題である大学入試ですが、こちらも思考力、判断力、表現力が問われるようになってきます。個別の大学の学力試験も多面的、総合的な評価がされるようになってくると思います。また、eポートフォリオの活用というのも話題になってきています。これは、レポートや授業のメモ、プリント、教師や同級生のコメント、サークル活動や課外活動など、学生の学びに関わるあらゆる記録をデジタル化して残すシステムのことです。学習や活動の記録が見える化されることで、学生が自分自身を振り返って客観的に見つめ直すことがしやすくなり、意識していなかった新たな気づきが得られたり、抱えている問題点が明確になったりする効果があると言われてしています。教師にとっても学生の学習過程を見ることができるよう、テストでは図れない学生の能力や成長を評価できるメリットがあります。

今までは生徒一人一人の個性を生かすのは大変難しいものでした。しかしながらカリキュラムが大きく変わり、情報やコンピューターなどを色々と活用することによって、血の通った心の教育ができるのではないかと思います。

最後になりますが、知識や技術はAI等に代替えされていく可能性があります。技術革新によって求められるスキルが変わっていく中、スキルの変化に対応できる基礎能力、説明能力、適応能力がますます重要になってきます。こうした能力は学校教育、学生時代の経験の中で培われるものです。これから社会に出る若い人達の能力開発にあってはこうした能力を伸ばすことを意識的に取り組んでいく必要があると思います。人間として大事なことをはぐくむ場所は学校であるということ、学校経営をしている立場の人間として肝に銘じていきたいと思っています。そして私たち教育者はこれから重要なことを担っていく生徒の皆さんを大切に思い、心の通った教育を行っていきたいと思っています。ご清聴ありがとうございました。

<閉会・点鐘> 13:30 北村 会長

週報担当 鷺尾 精一